

キャラクター名
優秀院 襟人

プレイヤー名

シンドローム	パロール ノイマン		ワークス	生徒会役員A	カヴァー	(エリート) 生徒会役員
	オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	32	%
出自	名家の生まれ	経験	神童	邂逅	天才	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0		0		1	1	行動値	7
感覚	1		0			1	(非装備時)	7
精神	5		0			5	戦闘移動	12
社会	2		0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: アカデミア	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
死神の瞳	RC	5r				ダメージ+6d10 (7d10)
崩壊のスフィア	RC	5r				ダメージ+8d10
Sランクサポーター	RC	5r				自分以外の判定ダイス+3! 侵蝕+3! シナ3!

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
Sランク: サポーター	
コネ: 学園通の友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
変異種	P	N		
襟人を負かした相手	P 感服	N 恥辱		
雲雀宏一	P 有為	N 敵愾心		
クリス・ブラッフォード	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
戦術	4	6	セットアップ	視界	シーン	自動		
効果: ラウンド中メジャーのダイス+LV個 自分不可								
インスピレーション	1	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果: GMに直接質問 拒否された場合は使用に含めない シナlv								
死神の瞳	4	3	メジャー	視界	単体	対決		
効果: 命中で次に受けるダメージを+lv+2D								
プレディクション	2	4	メジャー			対決		
効果: 組み合わせた攻撃をドッジ不可 シナlv								
勝利の女神	3	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 判定の直後に使用 達成値+lv×3 ラウンド1								
崩壊のスフィア	3	2d10	オート	視界	単体	自動	120	
効果: ダメージロールの直前に使用 ダメージ+lv×2D シナ1								
プロファイリング	★		メジャー					
効果: 物品から人物像を炙り出す。判定: 知識								
ドクタードリトル	★		常時					
効果: 言語ぺらぺら。判定: 交渉								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

秀才の中の秀才。エリートの中のエリート。生まれながらにしての特権階級、それが優秀院襟人である。
優秀な人材を輩出することで名高い優秀院家の長い歴史の中でも、ずば抜けて優秀とされていたのがこの襟人であった。将来を嘱望され、名門のオーヴァード養成課程に進む予定であったが、「将来のUGNを背負う者として、一般人に対する理解を深めないままではお話にならない」と当時小学生の襟人は言い放ち、オーヴァードアカデミアに進学する。その秀才ぶりからアカデミアにおいてもSランクに位置し、座学における連続正答数の最高記録を伸ばし続けている。

アカデミアに進学を決める以前の襟人は典型的なエリート主義者だった。神童であることを自覚し、他人を見下す言動も多々あった。しかしある時、彼は「人生初めての敗北」のある人物から叩きつけられることとなる。以来、襟人は自らを「秀才」と評し、自身の能力を特別視はするものの絶対視はしないというスタンスを取り続けている。「誇れど驕らず」、其の信条を端的に言い表すならばこれである。

能力はノイマンに加えてパロールシンドローム。眼鏡の奥にしま込まれた鋭い瞳が実は魔眼であり、一定の条件下で対象の行動を大きく制限する力を持つ。襟人自身はこの能力を「過ぎた権限」として使うことを好まないため、模擬戦においては戦況把握による支援が主な能力となっている。

余談: 襟人による他者評価。
●アカデミア現生徒会長・雲雀宏一に対して 襟人曰く「その気になれば当選は確実」であり、彼に成り代わることは造作もないと考えている。しかし、襟人自身その手腕を率直に高く評価しているとともに、一般人が生徒会長として学校を導き、そして評価されているという状況こそがアカデミアにとって意義のあるものと捉えているため、会長選挙に立候補するつもりは今のところない。出るなら副会長選挙でしょうか？(生徒会長を譲る気のない某萩原子荻「何参謀ぶってるのでしょうか。いかにもオタクって感じでキモイですね」(2点、と書かれた札を掲げながら))
●UGNについて 襟人は将来、穏健派・改革派を超越した新たな枠組みによるUGN統一を野望としている。秘匿体制は遅かれ早かれ限界を迎えるだろうというのが襟人の考えであり、その時にはUGNやFHといった枠組みが曖昧となると共に、ゼノスといった第三勢力の台頭がFHよりも脅威になると予想する。秘匿体制が崩壊した後における一般人とオーヴァードの共存について、アカデミアは重要な示唆を与えてくれると考えている。